

# 3

## 健やかな家・健やかな森

有機野菜や無添加の総菜、生活用品などの宅配を通じ、安心とおいしさを消費者に提供し、作り手である第一次産業を守ることを理念してきた「大地を守る会」。生活の基盤となる家にも、その理念を広げています。

「大地を守る会の自然住宅」は、化学建材を極力使用せず、国産の無垢材のほか、自然素材を使って建てられるのが特徴だ。ナチュラルティストが好まれる傾向にあるため、自然素材を謳う住宅は他にも数多くあるが、「大地を守る会」の家はそれらと一線を画すのは、断熱材や接着剤に至るまで徹底的に安全性にこだわっている点にある。その一番の目的は、住む人の健康。実際、2003年の自然住宅事業開始以来、シックハウス症候群やアレルギーの悩みを抱えた家族からの依頼が少なくない。

Iさんもその一人で、家族のアトピー性皮膚炎をきっかけに、同会の食品や生活用品の宅配を利用して20年になる。長年の利用により症状は改善されていたが、これまで暮らしてきた家が化学建材で覆われていることが気がかりになっていた。そこで「大地を守る会」の自然住宅事業部へ相談。同会ではその理念に基づいて、確かな技術を持つ職人や専門家のいる提携先工務店や設計事務所の紹介をはじめ、物件探しから専門家との間のコミュニケーションサポート、各工程での検査など、家づくりにおいて一貫したサポートを行っている。

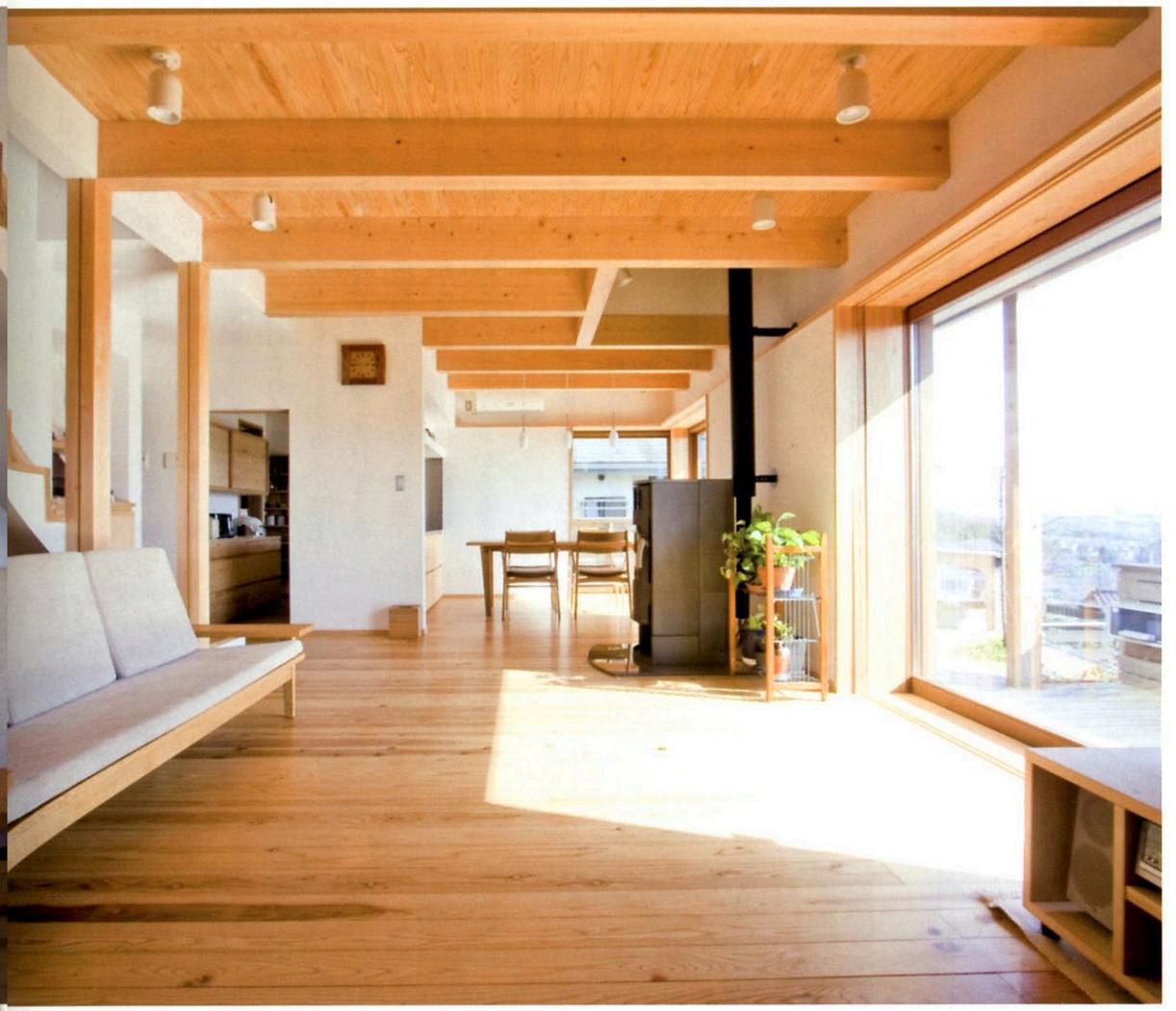
そのサービスを利用して建てたIさんの家は、1階はオープンスタイルのLDK。南側に開いた大きな窓は木製サッシと複層ガラスからなり、気密性と断熱性を確保しながら、優れた通風と採光、眺望が叶う。暖房には床暖房と木材資源を有効利用したペレットストーブを使用。エアコンはほとんど使わずに済むという。「この家に越してきてからは状況が和らいで、家族でリビングにいる時間が増えました」。穏やかな家族の時を楽しんでいる。

家族の健康を一番に考えた  
健やかな住まい

設計：荒川建築設計室・施工：乾建設

東京都 一邸

(右)高台の敷地に立つ邸。設計は「大地を守る会」と提携している荒川建築設計室が、施工は乾建設が担当した。屋根には太陽光発電が設置されている。(左)段差のある敷地を「5×緑（ゴバイミドリ）」が提供する里山の草花を組み合わせたユニットシステムを階段状につないでいる。(下)国産イグサを使用した同会オリジナルの畳を敷いた和室。庭の緑が目にやさしい。



日本の里山を昔から彩っていた萩や撫子などの在来の緑をユニット化した「5×緑（ゴバイミドリ）里山ユニット」。季節を感じて暮らす仕掛けの一つとして提案している。

「大地を守る会」の栽培基準に基づき、九州の契約農家が無農薬、または減農薬で栽培しているイグサを使い、オリジナルの畳を作成している。防虫加工もしていないので安心。



リビング前のデッキと菜園をつなぐ階段に「5×緑里山ユニット」を使用。